



代表取締役社長
間藤 浩一 氏
まとう こういち

社長が語る 「ものづくりへの想い」

ものをつくることは未来をつくることです。学校・病院等の公共施設からマンションまで、自分たちが携わった建築物を目にすることが誇りであり、この仕事の喜びですね。



鉄筋を加工する前にコンピューターに寸法のデータを入力する。5mm差が出ても調整して、あっという間に正確な加工品が完成。以前の機械より使いやすさも改善されている。

曲げた鉄筋を慎重に図る。多様なコンクリート建築の随所に使用される鉄筋には細やかさと正確さが求められる。



monozukuri
17

職別工事業（設備工事業を除く）
有限会社 間藤工業
〒870-0916
大分県大分市高松東 1-3-12
TEL 097-558-0777

間藤工業が最も大切にしていること

笑顔でいい仕事をする事で信頼が生まれ、未来につながっていく

で数秒で曲げられるようになったので作業時間も大幅に短縮できています」と話します。
加工場ではそれぞれの機械に担当者を配置し、最後まで責任を持って作業を行っています。

は信頼性です。従業員一人ひとりが技術や知識よりも先に、まず挨拶をきちんとし、人として信頼のおける人間性を目指すこと。一日一日の仕事をミスのないように、丁寧に的確に仕上げて、いい仕事をする。そして従業員がいつも笑顔でいること。この姿勢が信頼を生み、未来につながっていくことを信じて、今の建設工事になくてはならない鉄筋の仕事に携わっています。



大きな鉄筋から、小さな鉄筋まで自由自在の形に作れる。素材を利用して作業場もほぼ自分たちで作り上げている。

年々、災害が多発する日本では、防災力の強いマンション、学校、公共施設など、鉄筋コンクリートの建物が増加してきました。その鉄筋工事のコンクリートの中に入る、最も重要な部分にあたる鉄筋工事を施工している会社の間藤工業です。
昭和35年の創業以来、ゼネコンの請

近年多発する大規模地震への対応や消費者ニーズへの対応で、安心・安全・快適な建築物建設が一段と求められてきました。
構造の進化、複雑さに伴い、鉄筋の量

間藤社長は「以前の機械より工程も少なくなり、細い鉄筋から太い鉄筋ま

顧客の要望に素早く対応ができる体制を実現

も増え、同社も複雑化する鉄筋曲加工に対応すべく、最新鉄筋曲加工機を導入。この導入により、鉄筋加工場での加工率がさらにアップし、生産性もより向上してきました。

災害に強い建築素材である鉄筋のサプライヤーとして

monozukuri-17

matohkogyo

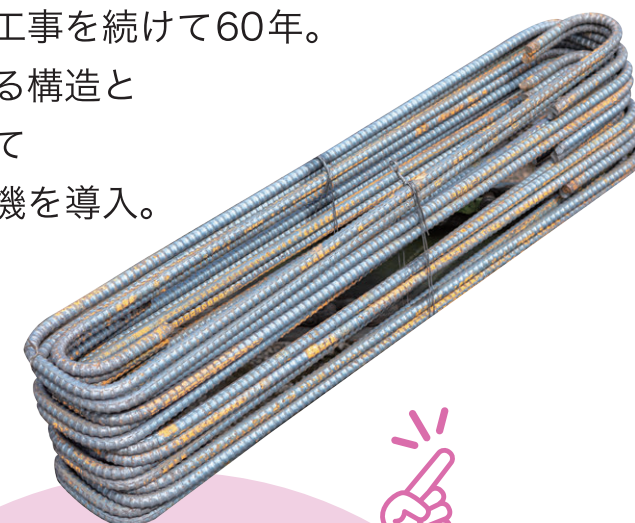
17

有限会社 間藤工業

**強く、しなやかな鉄筋と共に
建設工事を支え続けていく**

これからますます必要とされる鉄筋コンクリート構造。その主要な鉄筋工事を続けて60年。

さらに厳しくなる構造と複雑化に対応して
最新鉄筋曲加工機を導入。



曲げて、材料を降ろして上げてと3工程で加工していた以前の機械から、1工程に短縮。細かく正確を求められる作業だが誤差もなく、時間も労力も3分の1に軽減。建築のみならず土木分野への可能性も広がった。

**導入のポイント
最新の鉄筋
曲加工機で効率もアップ**